



2018年(平成30年)3月期 第1四半期 決算説明資料

ソーシャルワイヤー株式会社
2017年7月31日

第1四半期トピックス

ストックビジネス追求により

売上高 過去最高

×

AI技術活用により運営効率改革

営業利益率 上昇

連結業績ハイライト

セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

通期業績予想進捗

1Q主な投資活動

全体

連結

売上高	674百万円	(前年同期比 118.3%)
営業利益	87百万円	(前年同期比 195.5%)
経常利益	84百万円	(前年同期比 229.0%)
当期純利益	59百万円	(前年同期比 484.8%)

注
力
事
業

ニュースワイヤー
事業

売上高	326百万円	(前年同期比 119.6%)
プレスリリース配信数	4,379件	(前年同期比 114.1%)
チケット未使用残高	8,287枚	(前年同期末比 130.2%)
クリッピング案件数	2,850件	(前年同期比 113.4%)

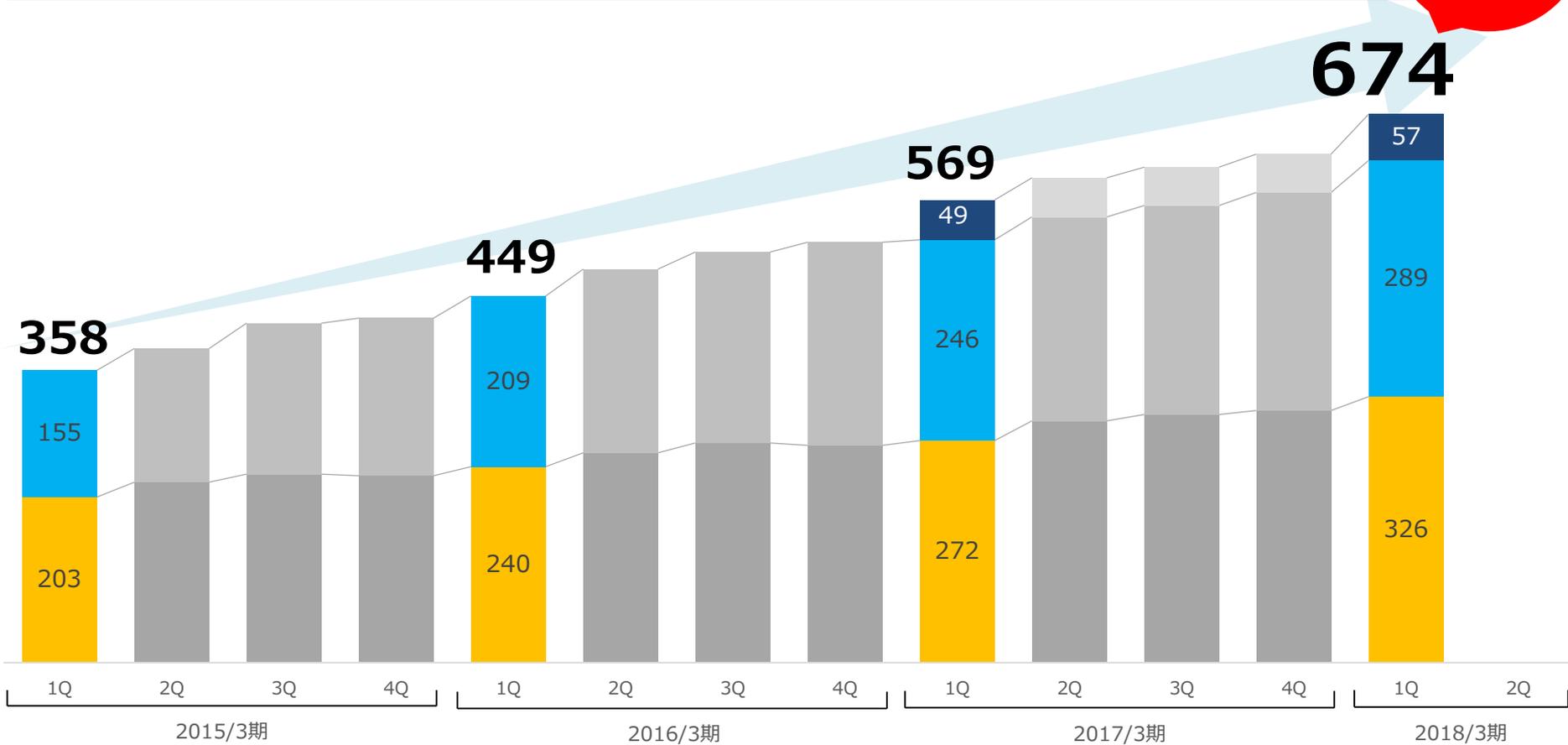
インキュベーション
事業

売上高	289百万円	(前年同期比 117.3%)
稼働席累計 (国内)	2,872席	(前年同期比 126.4%)
稼働席累計 (海外)	2,590席	(前年同期比 125.7%)

■ ニュースワイヤー事業 ■ インキュベーション事業 ■ その他 (単位: 百万円)

過去最高

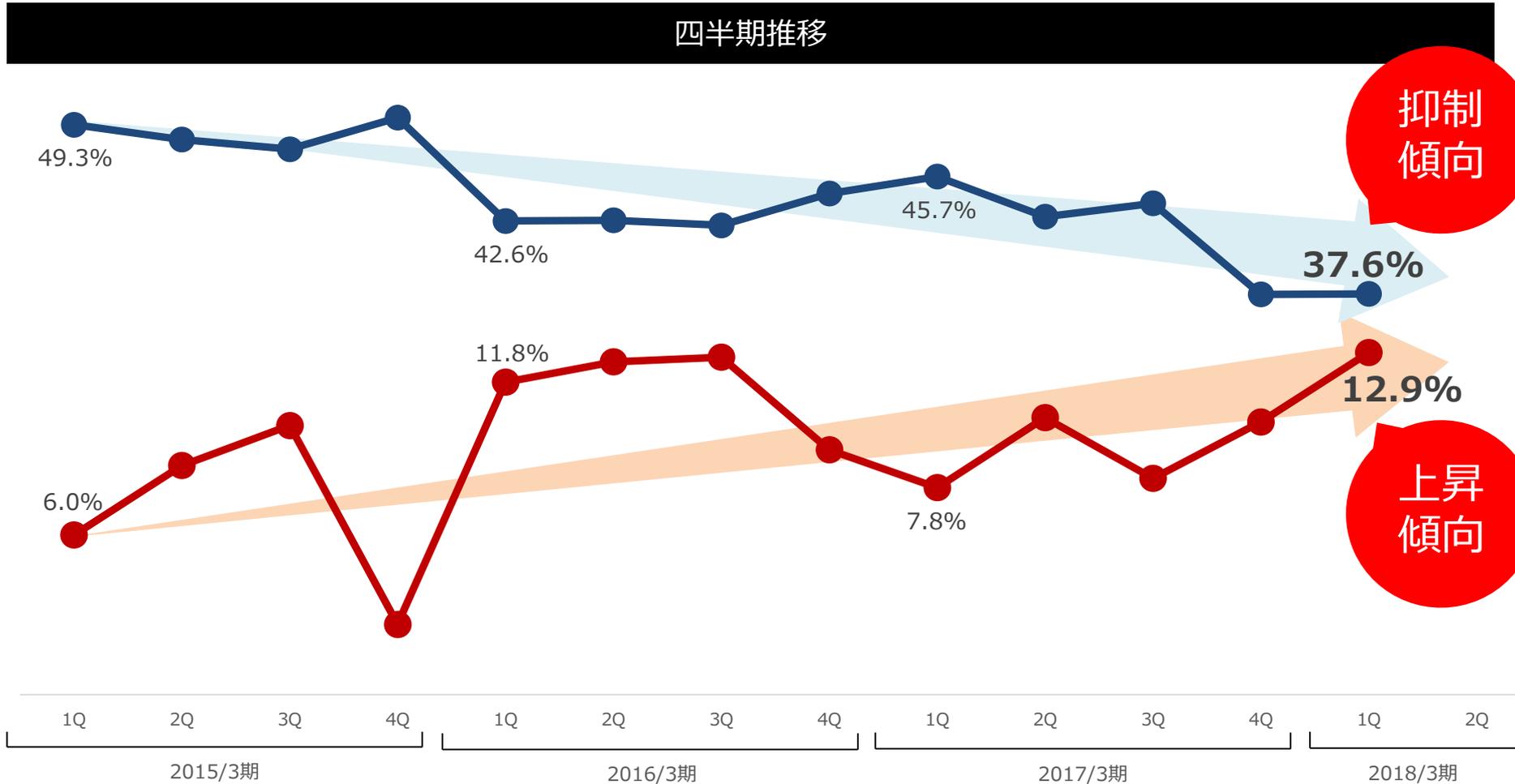
四半期推移



全セグメント成長 & 過去最高
(前年同期比118.3%)

※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

● 販管費率(%) ● 営業利益率(%)



販管費率は抑制傾向へ
(前年同期比8.1ポイント減)

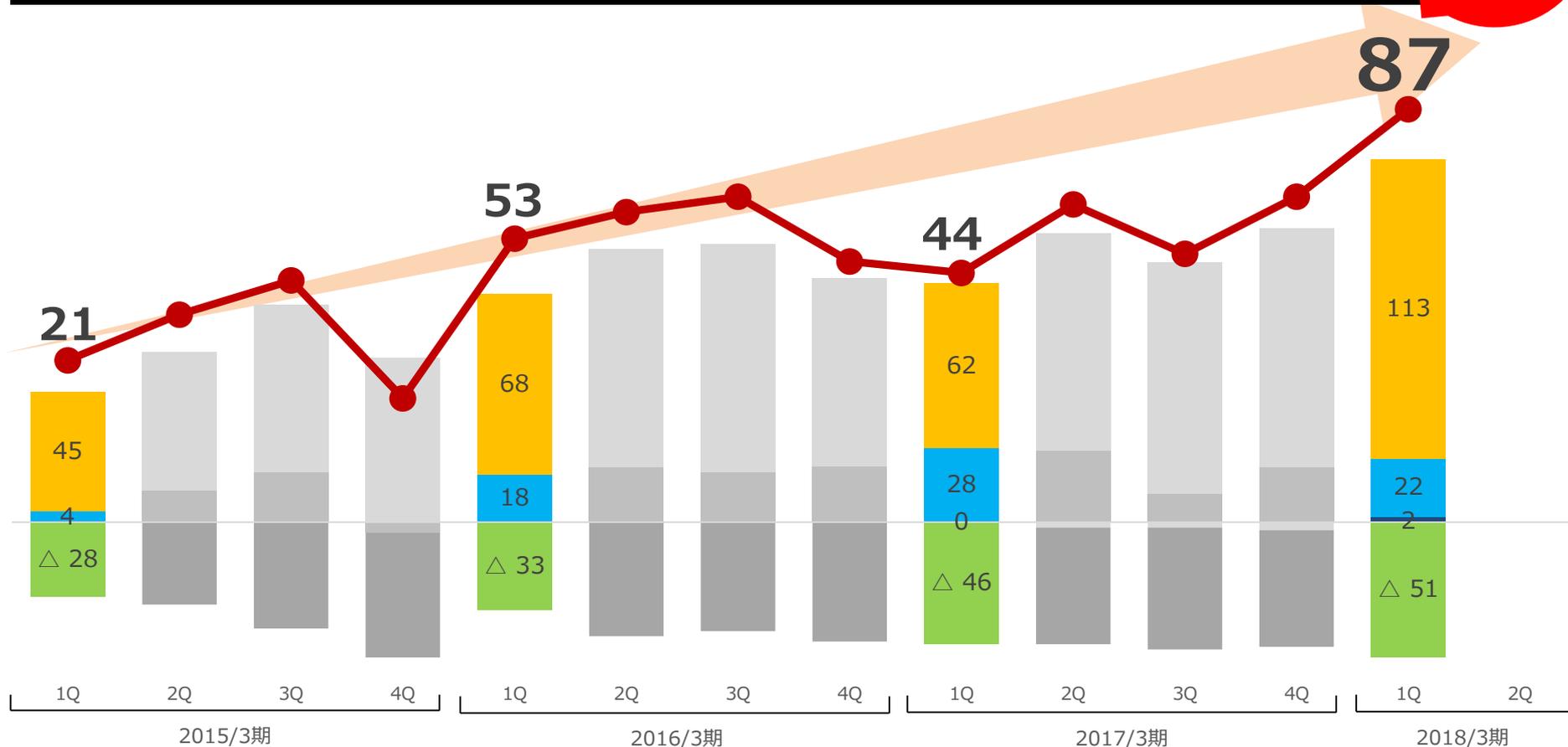
営業利益率は上昇傾向
(前年同期比5.1ポイント増)

※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

過去
最高

■ ニュースワイヤー事業 ■ インキュベーション事業 ■ その他 ■ 全社費用 ● 営業利益額 (単位: 百万円)

四半期推移



営業利益 過去最高
(前年同期比195.5%)

※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

連結業績ハイライト

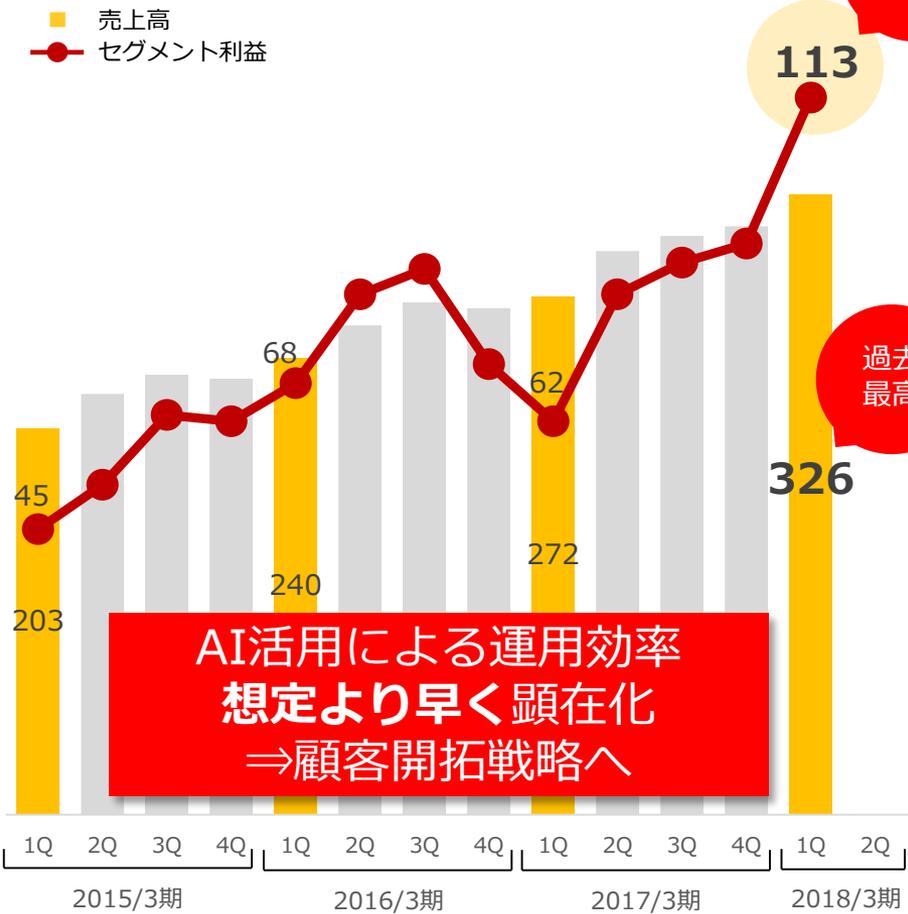
セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

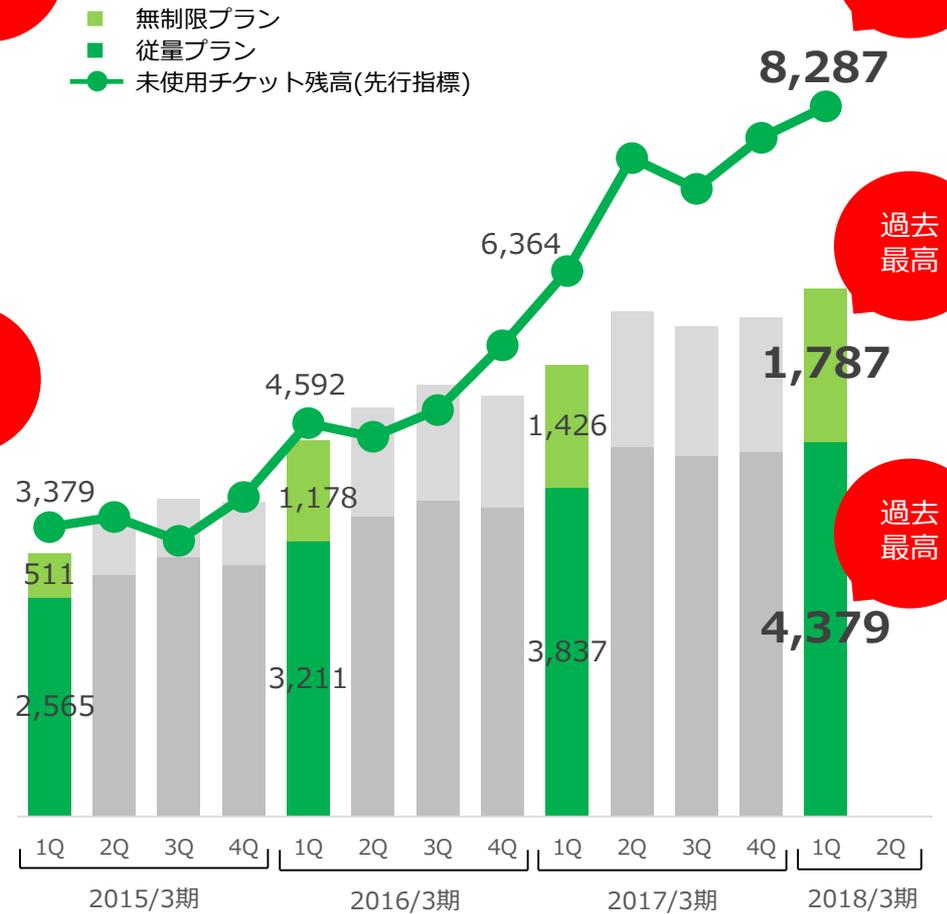
通期業績予想進捗

1Q主な投資活動

売上高/セグメント利益



プレスリリース配信数



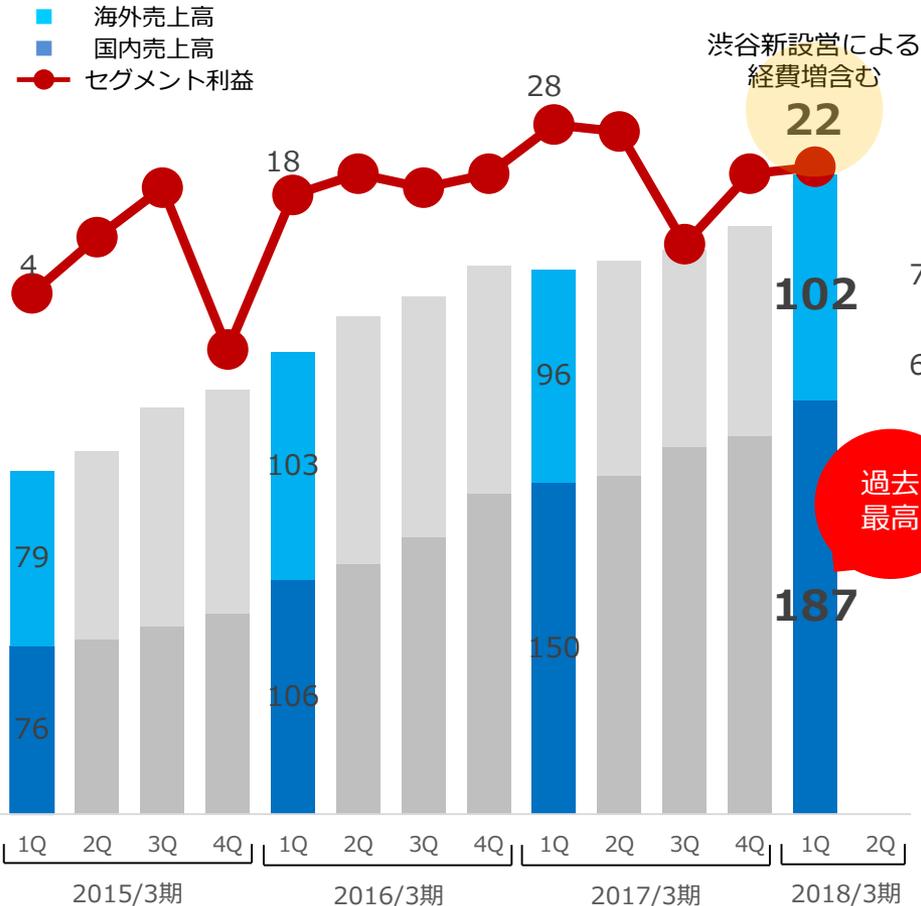
**AI活用による運用効率
想定より早く顕在化
⇒顧客開拓戦略へ**

売上高 (前年同期比119.6%)
セグメント利益 (前年同期比180.4%)

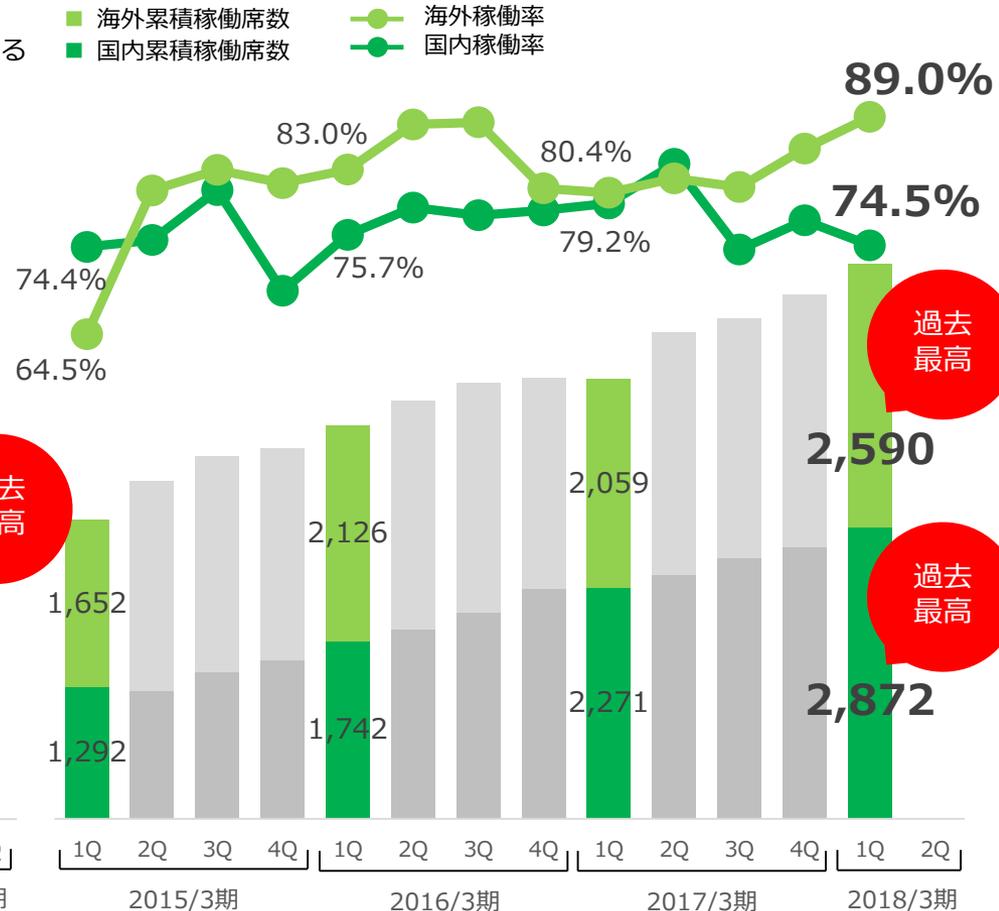
配信数 (前年同期比114.1%)
未使用チケット残高 (前年同期末比130.2%)

※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

売上高/セグメント利益



累計稼働席数



売上高 (前年同期比117.3%)
セグメント利益 (前年同期比78.3%)

国内累積稼働席 (前年同期比125.4%)
海外累積稼働席 (前年同期比106.5%)

※2015/3期における各四半期連結会計期間に係るデータについてはレビューを受けておりません。

連結業績ハイライト

セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

通期業績予想進捗

1Q主な投資活動

	2017/3期		2018/3期	
	1Q (百万円)	通期 (百万円)	1Q	
			(百万円)	前年同期比 (%)
売上高	569	2,397	674	118.3%
売上総利益	305	1,238	340	111.7%
営業利益 (営業利益率)	44 (7.8%)	220 (9.2%)	87 (12.9%)	195.5% (5.1ポイント増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	131	59	484.8%
EBITDA	76	370	128	168.7%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費
 ※EBITDAについてはレビューを受けておりません。

連結貸借対照表

	2017/3期末		2018/3期 1Q末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 (%)	主たる変動要因
流動資産	808	35.4	809	34.0	100.2	
固定資産	1,472	64.6	1,571	65.9	106.6	レンタルオフィス設営による建物の増加
資産合計	2,280	100.0	2,380	100.0	104.3	
流動負債	920	40.3	970	40.7	105.3	プレスリリース未使用チケット残高増加 レンタルオフィス設営のための借入金増
固定負債	469	20.5	509	21.4	108.5	
負債合計	1,390	60.9	1,479	62.1	106.4	
株主資本	849	37.2	863	36.2	101.5	当期利益増、配当金支払い
(自己株式)	△44	△1.9	△45	△1.8	—	
非支配株主持分	24	1.1	26	1.1	106.5	
その他	16	0.7	12	0.5	72.5	
純資産合計	890	39.1	901	37.8	101.1	
負債・純資産合計	2,280	100.0	2,380	100.0	104.3	

※自己株式金額は株主資本金額に含まれております。

連結業績ハイライト

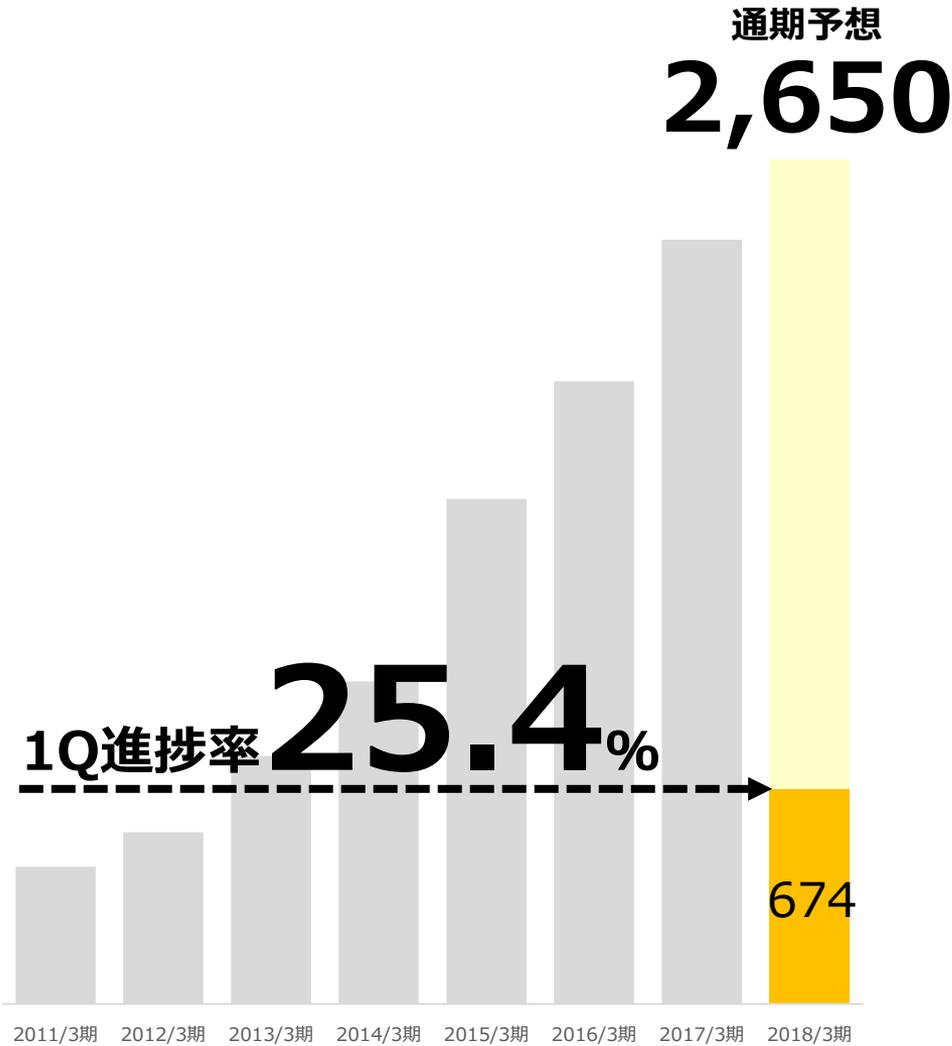
セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

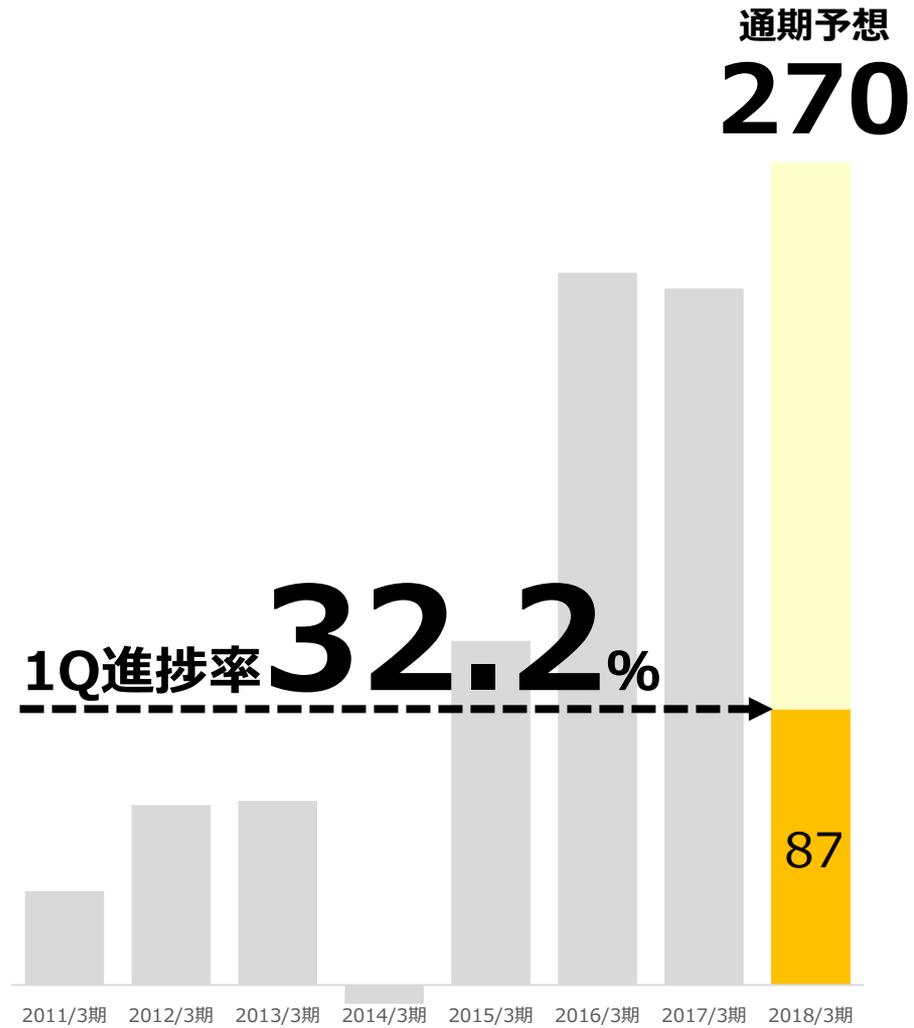
通期業績予想進捗

1 Q主な投資活動

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



連結業績ハイライト

セグメント業績

連結貸借対照表／連結損益計算書

通期業績予想進捗

1 Q主な投資活動

ニュースワイヤー
事業

AI技術活用による 運営効率改革

(業績に与える影響)
営業利益率
上昇

ビッグデータとAI技術による業務ツールを自社開発
恒久的な運営効率化を実現
(当初の想定より早い実現ができた)

(業績に与える影響)
新規顧客増
売上高増

捻出したリソースを新規顧客開拓へ

アットプレスのストック性（高リピート性）を背景としながら、
今後は、他サービス連携による**利用者増加を積極推進**していきます。

<連携による利用顧客増加策の取り組み例>

7月18日 クラウド翻訳サービス「トランスマート」利用顧客にアットプレス提供
7月27日 ソフトバンク・ペイメント・サービスとマーケティング業務提携

⋮

インキュベーション
事業

CROSSCOOP渋谷オープン

INCUBATION OFFICE
CROSS COOP

4月オープン！
稼働増により
7月に新フロア
増床決定！



その他
投資

「KVPシード・イノベーション 1号投資事業有限責任組合」LP参加

～主目的は「連携企業の開拓」機能活用～

戦略的な事業開発機能

(中長期的な影響)
新規事業開発力
向上

月間数十社の革新的テクノロジーや
サービス開発するベンチャー企業との
アプローチポイントとして活用

※当社がVC事業を主体的に実施する事実・計画はございません。



アジアBPOプラットフォームへ

グローバルなビジネス環境を構築していきます。

ご注意点

＜本資料の取扱いについて＞

本資料に記載されている契約や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関するお問い合わせ <https://www.socialwire.net/contact>

【毎月更新】株主・投資家の皆様へのメッセージ <https://www.socialwire.net/ir/messagelist>

株主・投資家の皆様へ

当社代表取締役社長 矢田峰之から
株主・投資家の皆様に向けてのメッセージを掲載しています。



代表取締役社長
矢田 峰之